



# 足立入谷小だより

令和4年7月20日  
足立区立足立入谷小学校  
校長 田村正弘



## 雨の日のできごと

校長 田村 正弘

6月末の猛暑から一転し、梅雨に戻ったかのような天気が続き、傘が手放せない毎日です。7月13日の朝も傘をさしての登校でした。いつものように校門に立っていると2年生の男児が校門前でUターンをして、来た道を戻ろうとしました。私が事情を聞くと「健康観察カードをどこかに落としてしまった」とのことでした。登校後に慌てて家に向かう行為は交通安全上大変危険なので制止し保健室で検温するよう指示し事なきを得ました。その数分後、学生服を着た生徒が校門前の私のところに近づいてきました。登校途中に健康観察カードを拾ったので届けてくれたのです。雨の中、しかも登校途中で急いでいるのにわざわざ遠回りをしてくださったのです。本人は名乗りませんが、入谷中学校の生徒であることは間違いありません。連携校の中学生の振る舞いに、鬱陶しい天候を忘れ爽やかな気分を味わうことができました。

このできごとを「想像する」という視点で振り返ってみましょう。まずは、私が彼（中学生）の行動を想像してみます。登校途中に路上にピンク色の画用紙が1枚落ちていたのを発見しました。「何だろう？」と関心をもつ人と無視する人に分かれます。彼は関心を持ち、それが小学校の健康観察カードであることを認識しました。その上で、びしょびしょになったそのカードを拾うか否か分かれます。濡れた画用紙を路上から拾うという行為は結構ハードルが高いと思いますが彼は拾いました。拾った以上はそれを手放す必要があります。路上が目立つところに置いて落とした人が帰りにピックアップすることを期待する方法、中学校まで持って行き先生に手渡し学校経由で本人に届ける方法等もありますが、彼はおそらく迷わずに小学校に届けることを選択しました。なぜなら、彼が私に手渡したときに、落とした本人がこのカードがなければ困ってしまうだろうということを気にしていたからです。彼は「カードを落とした児童の視点」で小学生の心情を想像してくれたのです。カードがなければ、小学生はすぐには教室には入れないというところまで想像していたのかもしれませんが。

見ず知らずの第三者の視点に立って想像できる人は、他者の気持ちをくみ取れる人です。世の中の皆がこのように他者の気持ちを想像しながら行動できたら、住みやすい世界になることは間違いありません。

本校の経営方針の柱は「考える子の育成」です。「自分について考える（健康・体力）」「他者について考える（思いやり）」「物事や自然について考える（探究する意欲）」ことができる人に育ってもらいたいと願っています。もし、先述の中学生が本校の卒業生だったら、小学校教育の積み重ねが中学校で花開いたこととなります。

明日から6週間の夏季休業に入り、ご家族で過ごす時間が増えると思います。ぜひこの機会に、互いの行為の裏側にある心情を想像し合っただき、相手の気持ちに寄り添った言動を心がけてほしいと願っています。

## 8月の主な行事予定

日	曜	行	事	スマ	16	火	学校閉校日	×
1	月			×	17	水	※閉校期間中の事故等の連絡は教育委員会へ	×
2	火			×	18	木		×
3	水	サマースクール・水泳教室・あだち学習教室終		×	19	金		×
4	木			×	20	土		
5	金			×	21	日		
6	土				22	月		×
7	日				23	火		×
8	月			×	24	水		×
9	火			×	25	木		×
10	水			×	26	金		×
11	木	山の日			27	土		
12	金	学校閉校日		×	28	日		
13	土				29	月		×
14	日				30	火		×
15	月	学校閉校日		×	31	水	夏季休業日終	×

※( )の中の数字や文字は対象学年を示します。×はスマイル未開催日 OPはオリビュウタム実施日 スクールカウンセラー配置日は水・金

**水泳指導始め**・・・6/20 去年改修されたプールでようやく開始 さあ泳ぐぞ



**七夕集会**・・・6/24・7/7 たて割り班でいっしょに準備して七夕集会を迎えました。



**がん教育**・・・7/8 自らの健康を生涯にわたって考えられる子に...



**自転車教室(3年)**・・・7/7 ご指導を受けた3年生。免許はもうすぐ。とにかく安全に!



**SOS 出し方教室・セーフティ教室**・・・7/5・7/9

